

静岡県立韮山高等学校野球部

龍城球人

創部百二十周年記念特別号



平成27年(2015) 背番号授与式



平成26年(2014) 松永恰一さんを囲んで

平成28年(2016) 夏県大会

野球部 OB 会活動の歩み

平成7年(1995)～平成28年(2016)

年	OB 会員数	OB会 事業費 千円	主な出来事
平成7 (1995)	419	14,421	創部99年目で選手権静岡大会初優勝(7月)、夏の甲子園大会初出場3回戦進出(8月)、 ※甲子園募金事業費5,945千円 ※甲子園応援事業費6,176千円
平成8 (1996)	444	7,379	創部百周年記念式典、記念誌「勁くますく」に飾りな<」発行、招待試合 静岡高(11月) ※記念事業費9,170千円
平成9 (1997)	456	995	
平成10 (1998)	459	1,057	野球部年報・OB会報「龍城球人」創刊(3月) 岡本重幸 OB 会長(中49回)が退任し、豊岡武士氏(高13回)が新会長に就任(8月)
平成11 (1999)	450	1,904	志太勤総監督(高5回)率いるシタックス野球部が第26回社会人野球日本選手権大会で 優勝 故久保一昭氏(高18回)の遺族より100万円の寄付を頂き基金として積み立て
平成12 (2000)	484	1,938	
平成13 (2001)	475	2,051	堀井哲也監督(高32回)率いる三菱自動車岡崎野球部が第72回都市対抗野球大会で準 優勝
平成14 (2002)	487	1,947	
平成15 (2003)	515	1,782	
平成16 (2004)	518	1,980	スクールバス運行開始、土日の遠征バスとしても活用
平成17 (2005)	504	2,380	
平成18 (2006)	542	1,825	志龍講堂完成:シタックス会長の志太勤氏(高5回)が県に寄贈(1月) 創部百十周年記念式典、記念碑建立、OB会杯-A^°-」開設、招待試合 浜松商(3月) ※記念事業費4,918千円
平成19 (2007)	547	1,639	堀井哲也監督(高32回)率いるJR東日本野球部が第78回都市対抗野球大会で準優勝
平成20 (2008)	567	1,548	
平成21 (2009)	580	2,046	
平成22 (2010)	586	1,488	OB会メールマガジン配信開始、OB会ホームページ改訂、OB会員専用帽子作成
平成23 (2011)	589	1,563	堀井哲也監督(高32回)率いるJR東日本野球部が第82回都市対抗野球大会で初優勝
平成24 (2012)	607	2,138	OB会から野球部へスपोर्टガン寄贈、OB会員専用タオル作成 堀井哲也監督(高32回)率いるJR東日本野球部が第83回都市対抗野球大会、第38回 社会人野球日本選手権大会で、いずれも準優勝
平成25 (2013)	642	1,582	堀井哲也監督(高32回)率いるJR東日本野球部、木村泰雄監督(高32回)率いる日本 製紙石巻野球部が第84回都市対抗野球大会に出場し準々決勝で対戦
平成26 (2014)	649	1,455	昭和25年選抜大会準々決勝で対戦した八幡高校主将の松永恰一氏を招き歓迎行事を行い、 選抜出場関係者と64年ぶりに再会(5月)
平成27 (2015)	672	1,606	
平成28 (2016)	647		創部百二十周年記念式典、招待試合 静岡商(11月)

OB会事業費はOB会員の年会費で賄われており、その大半は野球部活動への援助に使われています。

本年、韮山高校野球部は、明治三十年(1897)の創部から百二十周年の節目の年を迎えました。昭和二十五年(1950)春の選抜大会で初出場、初優勝を果たし、創部九十九年目の平成七年(1995)には、夏の選手権静岡大会に初優勝、甲子園大会3回戦進出という輝かしい歴史を刻みました。創部百周年の平成八(1996)に、「記念誌」勁くますく」に飾りな<」を発行し、以降毎年度末には野球部年報・OB会報として『龍城球人』を発行しています。この度、『龍城球人』の創部百二十周年記念特別号として、過去二十年間の野球部の戦績やOB会活動の概要をまとめました。これからも未永く、韮山高校野球部への応援をよろしく願います。

平成二十八年十一月
韮山高校野球部OB会事務局

年	卒業回	部長・監督・主将	春季東部大会	春季県大会	選手権静岡大会	秋季東部大会	秋季県大会
平成28年 (2016)	高69回	部長 武井 淳 副部長 菊地正博 副部長 美那川雄一 監督 小雀浩一郎 主将 江塚大輝	2回戦 × 1-7 桐陽 【優勝 日大三島】	【優勝 常葉橋】	1回戦 ○ 7-2 伊東 2回戦 × 2-3 袋井商	2回戦 ○ 3-0 御殿場西 3回戦 ○ 5-4 富士宮西 4回戦 ○ 9-2 三島南 準決勝 ○ 1-3 桐陽 3位決定 ○ 6-4 飛龍	2回戦 × 0-1 静岡学園 【優勝 聖隷クリストファー】
平成27年 (2015)	高68回	部長 武井 淳 副部長 萩原季弘 副部長 美那川雄一 監督 小雀浩一郎 主将 情家康平	2回戦 ○ 8-6 沼津高専 3回戦 × 0-7 三島北 【優勝 日大三島】	【優勝 静岡岡】	1回戦 ○ 12-1 誠恵 2回戦 ○ 7-0 浜松南 3回戦 × 4-9 静岡清	1回戦 ○ 7-2 知徳 2回戦 ○ 8-2 沼津工 3回戦 ○ 13-3 伊豆総合 4回戦 × 5-8 富士市立 敗者復活 × 1-2 御殿場西	【優勝 掛川西】
平成26年 (2014)	高67回	部長 早川 敏 副部長 萩原季弘 副部長 美那川雄一 監督 小雀浩一郎 主将 土屋将平	2回戦 ○ 4-3 富士宮西 3回戦 ○ 10-3 裾野 3回戦 × 3-7 富士宮北 【優勝 日大三島】	【優勝 日大三島】	1回戦 ○ 4-0 清水東 2回戦 ○ 7-4 浜北西 3回戦 × 5-7 東海大翔洋	2回戦 ○ 2-7 沼津商 3回戦 × 6-9 誠恵 敗者復活 × 2-1 沼津商	【優勝 静岡岡】
平成25年 (2013)	高66回	部長 早川 敏 副部長 萩原季弘 副部長 美那川雄一 監督 小雀浩一郎 主将 菊地大悟	2回戦 ○ 2-0 富士宮西 3回戦 ○ 12-0 桐陽 4回戦 ○ 13-9 飛龍 準決勝 ○ 8-2 富士市立 決勝 ○ 13-10 富士市立 【優勝 葦山】	【優勝 常葉菊川】	2回戦 ○ 1-0 浜松北 3回戦 ○ 7-0 三ヶ日 4回戦 × 6-9 菊川南陵	2回戦 ○ 10-3 沼津商 3回戦 ○ 3-5 三島 敗者復活 × 3-10 日大三島	【優勝 静岡岡】
平成24年 (2012)	高65回	部長 早川 敏 副部長 萩原季弘 副部長 美那川雄一 監督 小雀浩一郎 主将 新井涼太	2回戦 ○ 9-1 星陵 3回戦 ○ 10-1 三島北 4回戦 × 4-5 市立沼津 【優勝 日大三島】	【優勝 静岡岡】	1回戦 ○ 18-1 引佐 2回戦 ○ 5-3 磐田東 3回戦 ○ 11-2 島田 4回戦 × 3-7 静岡市立	2回戦 ○ 11-0 沼津高専 3回戦 ○ 3-0 富士宮西 4回戦 × 5-9 富士市立 敗者復活 × 1-8 飛龍	【優勝 静岡岡】
平成23年 (2011)	高64回	部長 早川 敏 副部長 萩原季弘 副部長 美那川雄一 監督 小雀浩一郎 主将 佐藤拳士	2回戦 ○ 13-3 沼津商 3回戦 ○ 6-0 富士 4回戦 ○ 4-1 富士宮西 準決勝 ○ 5-4 飛龍 決勝 × 3-7 市立沼津 【優勝 市立沼津】	【優勝 常葉菊川】	2回戦 ○ 3-2 常葉橋 3回戦 ○ 13-5 清水西 4回戦 ○ 9-0 磐田北 準々決勝 ○ 5-0 桐陽 準決勝 × 3-6 磐田東 決勝 ○ 5-4 富士市立	2回戦 ○ 7-0 吉原 3回戦 ○ 7-2 伊豆総合 4回戦 ○ 11-2 下田 準決勝 ○ 11-1 御殿場西 決勝 ○ 5-4 富士市立	2回戦 × 5-13 常葉菊川 【優勝 静岡岡商】

年	卒業回	部長・監督・主将	春季東部大会	春季県大会	選手権静岡大会	秋季東部大会	秋季県大会
平成22年 (2010)	高63回	部長 早川 敏 副部長 萩原季弘 副部長 美那川雄一 監督 小雀浩一郎 主将 岩城健郎	1回戦 ○ 9-1 沼津高専 2回戦 × 0-4 加藤学園 【優勝 三島】	【優勝 静岡岡】	1回戦 × 0-9 静岡岡商	2回戦 ○ 6-5 伊豆総合 3回戦 ○ 5-2 御殿場西 4回戦 ○ 2-1 吉原商 準決勝 ○ 4-3 市立沼津 3位決定 × 3-10 加藤学園	2回戦 ○ 6-4 常葉橋 準決勝 ○ 8-1 浜松工 3位決定 × 1-3 静岡岡
平成21年 (2009)	高62回	部長 早川 敏 副部長 萩原季弘 副部長 美那川雄一 監督 小雀浩一郎 主将 山邊太平	2回戦 ○ 7-6 吉原 3回戦 ○ 10-0 修善寺工 4回戦 × 1-8 三島 【優勝 三島】	【優勝 静岡学園】	1回戦 × 3-5 池新田	2回戦 × 2-3 下田 敗者復活 ○ 17-6 沼津城北 敗者復活 × 3-10 御殿場西	【優勝 静岡岡商】
平成20年 (2008)	高61回	部長 早川 敏 副部長 寺田典生 副部長 美那川雄一 監督 小雀浩一郎 主将 荒瀬尚弥	2回戦 ○ 12-0 星陵 3回戦 ○ 6-2 富士宮北 4回戦 ○ 7-0 桐陽 準決勝 × 2-3 市立沼津 3位決定 × 4-8 日大三島 【優勝 市立沼津】	【優勝 常葉橋】	2回戦 ○ 8-7 富岳館 3回戦 ○ 3-4 静岡清工 3回戦 × 3-4 静岡清工	2回戦 ○ 8-6 小東山 3回戦 ○ 3-0 伊東商 4回戦 ○ 7-5 沼津東 準決勝 ○ 7-6 吉原商 決勝 × 2-10 飛龍	2回戦 × 1-7 沼津東 【優勝 掛川西】
平成19年 (2007)	高60回	部長 早川 敏 副部長 寺田典生 副部長 小雀浩一郎 監督 植田駿一郎 主将 植田駿一郎	2回戦 ○ 4-2 沼津工 3回戦 × 5-10 修善寺工 【優勝 沼津東】	【優勝 常葉橋】	1回戦 ○ 4-1 吉田 2回戦 × 0-3 常葉橋	2回戦 ○ 12-0 富岳館 3回戦 ○ 7-1 富士東 4回戦 × 6-7 三島 敗者復活 ○ 10-0 富士	1回戦 ○ 6-2 聖隷クリストファー 2回戦 × 0-10 静岡岡
平成18年 (2006)	高59回	部長 早川 敏 副部長 寺田典生 副部長 秋津 温 監督 小雀浩一郎 主将 近藤祐輔	1回戦 ○ 13-2 吉原商 2回戦 × 1-3 富士宮西 【優勝 飛龍】	【優勝 島田商】	1回戦 ○ 5-4 誠恵 2回戦 ○ 3-1 市立沼津 3回戦 ○ 9-8 富岳館 4回戦 × 0-9 掛川西	2回戦 ○ 7-0 吉原商 3回戦 ○ 8-1 富士宮北 4回戦 × 2-7 御殿場西 敗者復活 ○ 15-12 富士宮西	1回戦 ○ 7-6 国際海洋一 2回戦 × 5-11 静岡岡